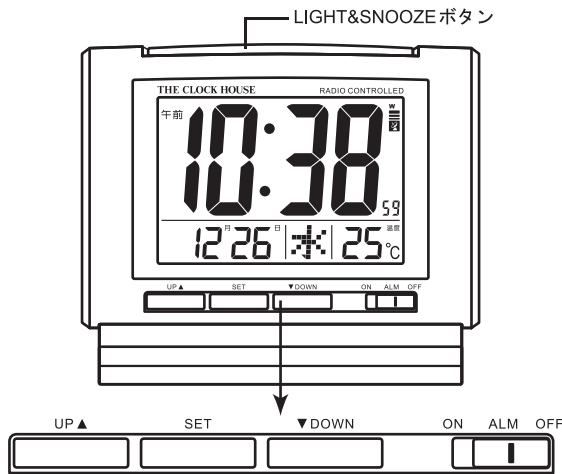


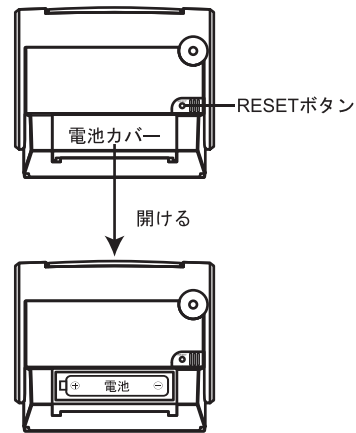
ご使用方法

〈正面図〉



※機種により電池を製品に入れて出荷しております。
この場合、消耗を防ぐために「絶縁シート」をつけておりますので使用前に必ず抜き取ってからご使用ください。
※操作音を消す事は出来ません。ご了承ください。
※実際の商品とイラストは多少異なる場合がございます。

〈背面図〉



①電池を入れる

・単3形電池1個を電池ホルダーの＋の表示に合わせて入れて下さい。その後RESETボタンを押します。

②電波を受信する

・電池を入れると電波受信状態になります。受信中の場合電波マークが動きだします。
・2分～20分程度で電波を受信します。受信が成功すると正確な時刻と日付・曜日表示し、電波マークは点滅をやめた状態で表示されます。
・40kHzを受信した場合は**E**、60kHzを受信した場合は**W**と表示されます。
・15分以上経っても受信しない場合、受信は自動的に終わります。受信に失敗すると電波マークが表示されていない状態になります。

■電波受信ができなかった場合

・電波受信状態から20分以上経過し、電波を受信出来なかった場合は<電波が受信出来ない場合>をご参照ください。

操作中に不明な点が出てきた場合は、RESETボタンを押してください。
設定されている内容が初期の状態に戻り、受信を再スタートします。

電波が受信出来ない場合

■一昼夜そのままにして様子を見る
夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。

■SETボタンで再度電波受信をする
SETボタンを押すと再度電波受信状態になります。
本説明書の電波時計についてを参照し、電波を受けやすい場所で再度電波受信をしてください。

■設置場所を変えてみる
設置場所を変えて再度受信をさせて下さい。
※設置場所を変える場合は、本取扱説明書の<電波時計について>を参照して下さい。

■手動で時刻を設定する
<手動による時刻設定の方法>を読んで時刻を手動で合わせてください。

手動による時刻設定の方法

■年→日付→時間（設定完了）の順に設定ができます。以下の通りに設定をしてください。

①時刻表示時にSETボタンを3秒以上押し続けると手動設定モードになります。

②「日暦」が点滅しますので、UP・DOWNボタンで調整してください。

③SETボタンを押すと「日付」が点滅します。UP・DOWNボタンを押して調整してください。
※月の始めや終わりをまたぐと月が変わります。
※日付（月・日）の調整により曜日は自動調整されます。

④SETボタンを押すと「時刻」が点滅します。UP・DOWNボタンを押して調整してください。
※00または59をまたぐと時が変わります。

⑤SETボタンを押すと、設定が完了し設定した時刻が表示されます。

安全上のご注意

～必ずお守りください～

電池の使い方を間違えると電池が発熱、液漏れ、破裂してケガや機器の故障の原因となります。

「注意」「警告」の記載事項を必ず守って下さい。

注意

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

警告

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

■分解・改造はおやめ下さい。
■強いショックを与えないで下さい。
■不安定な場所には時計を設置しないで下さい。
※落下や転倒により、ケガおよび器物を破損する恐れがあります。

アラームの設定

■通常の時刻が表示されている状態でUPまたはDOWNボタンを押すと日付が表示されている場所にアラーム時刻が表示されます。

■アラーム時刻が表示されたままの状態でもUP・DOWNボタンを押すとアラーム時刻を設定できます。
※00または59をまたぐと時が変わります。
※アラーム時刻設定の途中で5秒以上何もしないと自動的に通常時刻表示に戻ります。

■アラームのON/OFFの切り替えをするにはALM(ALARM)のON/OFFのスイッチを操作してください。
・ONに設定されている場合はベルのマーク(●●)が表示され、日付が表示されている場所に設定したアラームの時刻が表示されます。
・OFFに設定されている場合は日付(月日)が表示されます。

■アラーム音が鳴っている時にSNOOZEボタンでアラームを止めると、(●●)が点滅し、約5分後に再びアラームが鳴り出します。再度SNOOZEボタンでアラームを止めるとこの機能を繰り返し何回も使用することができます。
アラームを完全に止めたい場合はアラームボタンをOFFにしてアラーム機能を解除してください。

※アラーム音が鳴り始めてもなにもボタンを押さない場合、約1分後に自動的に止まります。

電池について

注意

■種類の違う電池を混ぜて使用しないで下さい。
■電池交換する際は新しい電池とすべて交換して下さい。
■使用済みの電池は、すぐに機器から取り出して下さい。
■長時間使用しない場合は電池を機器から取り出して下さい。
■付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。
■電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけたりしないで下さい。
■直射日光や高温多湿の場所を避けて保管して下さい。
■製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計はまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換することをおすすめします。また時計を使わないときは電池をすべてはずして下さい。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や周囲の物を汚したり傷めたりする恐れがあります。

警告

■電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。
■電池を飲み込んだ場合はすぐに医師と相談して下さい。
■分解や過熱、火に入れるなどしないで下さい。
■+-の向きを正しく入れて下さい。
■+-をショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯、保管しないで下さい。
■電池からもれた液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは大量のきれいな水で洗い流しすぐに医師の治療を受けて下さい。失明やケガなどの恐れがあります。

この度は液晶電波クロックをお買上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書よくお読みの上、正しくご愛用下さいませようお願い申し上げます。なおこの取扱説明書はお手元に保管し必要に応じてご覧下さい。

保証・アフターサービス

- 保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品はお買上店が預かりメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- お買上店へご持参（または発送）いただく際の運賃・諸掛費用はお客様にて負担下さいます様お願いいたします。
- 保証期間中でも、無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理をご希望の場合は、有料での修理となります。
- 修理のとき、部品・付属品は一部代替部品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は本体の修理代金のほか取扱店と修理工場との間の往復運賃諸掛費用をお客様にご負担いただけます。その場合代金が本体価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも修理品はおお客様がお買上店にお持込頂けますようお願いいたします。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
 - ①本保証書のご提示がない場合。
 - ②本保証書に販売店およびお買上日の記載がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - ③誤ったご使用不注意、不当な修理・改造・天災地変等による故障または損傷。
 - ④ご使用中に生じる外観上の変化。（ケースガラス、その他付属品の傷など）
- 電池は保証の対象外です。

保証書 (Guarantee)

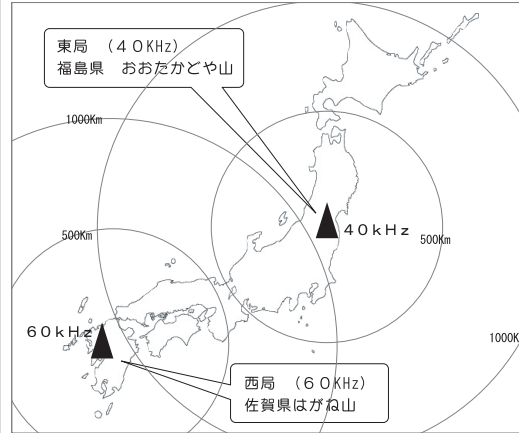
品番	
お買上げ日	年 月 日
保証期間	お買上日より1年間
お客様	ご氏名
	TEL
	ご住所
販売店	

本保証書は日本国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構（NICT）によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2ヶ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



※気候条件・置き場所・時間帯・地形・建物によっては受信出来ないことがあります。電波受信の可能地域はあくまでも目安です。図の範囲内でも電波受信出来ない場合もあります。

お手入れについて

- ベンジン・シンナー・アルコール各種、ブラシなどは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
- 殺虫剤・ヘアスプレーなどがかからないようにして下さい。変色変形の恐れがあります。
- プラスチック製の時計の場合、枠を拭くときは湿ったやわらかい布で拭いて下さい。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭き、拭いた後で乾拭きして下さい。
- 木枠・金属枠の時計の場合、汚れやほこりを取るときは柔らかい布で乾拭きして下さい。

※お客様が分解しますと修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また、保証の対象外となりますのでご注意ください。

電波時計について

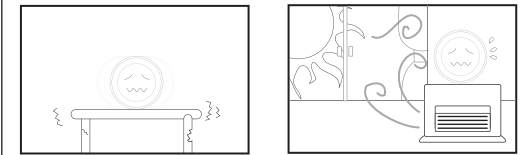
使用場所について

本機は、電波を受信する時計です。正常に機能させるために、以下のような場所では電波受信しにくくなりますのでご注意ください。

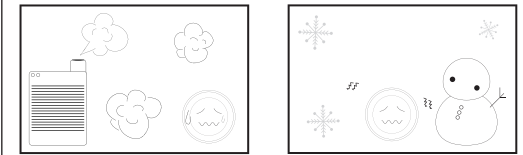


- ビルなどの地下。
- 高圧線、架線の近く。
- 金属製雨戸やブラインドの近く。
- 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中。
- テレビなどの家庭電化製品やパソコンなどのOA機器の近く。
- 工事現場・空港・交通量の多いところなど電波障害の起きるところ。
- 金属板の上や山などの電波を遮断するところや、朝夕の時間帯や雨天の時。

下記のような場所では使用しないで下さい。機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こす事があります。また本商品は業務用ではありません。



- 振動のある場所
- 暑い場所

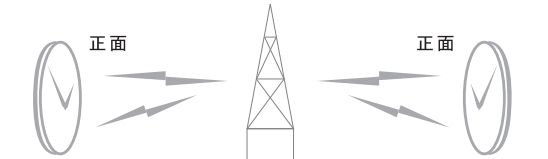


- 湿気の多い場所
- 寒い場所

- 温度が40度以上になる所や直射日光のあたる場所。屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が0度以下になる所。プラスチック部品や電池の劣化が起こる事があります。
- 塵、ほこりが多い所。空気中に舞上がったゴミが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーの側や強い磁気のある所。磁力の影響で進み、遅れを生じたり時計が止まる事があります。
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる事があります。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計を傷めることがあります。

[正しい電波受信]

受信が困難な場合は、受信条件の良い場所に本機を移動すれば通常の機能が作動して正しい時刻を表示するようになります。



標準電波送信所

本機の正面を電波送信所に向かい合うように置くと、受信しやすくなります。

- 電波を受信しない場合は窓際まで行き、電波送信所の方を向かせ再度電波の受信をしてください。

製品仕様

- 時計精度：平均月差±40秒以内（常温での使用時）（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- 使用温度範囲：0℃～+50℃
- 使用電池：単3形乾電池×1個
- 電池寿命：約12ヶ月（アラーム設定毎日1回・ライト5回使用した場合）
- 受信電波：標準電波JJY
周波数：40kHz/60kHz（自動選局）
- 電波受信機能：自動受信（午前2時から3時間ごと、次の受信までクオーツの精度で動いています。）

- 温度表示：-9℃～+50℃（-9℃以下はLL表示となります。）
- 温度表示精度：±3℃

- アラーム音最長継続時間：約1分
- スヌーズ間隔：約5分

- デジタル表示：時刻/日付/曜日/温度

※付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池ですので製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。

この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。印刷による制限のためにこの取扱説明書の図が実際の表示と異なる場合があります。弊社はこの時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。この取扱説明書の製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。